

開催日時：令和7年8月19日（火） 15時00分から17時10分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、熊谷教育長、清水総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、小倉建設部長、岡本危機管理部長、井田上下水道局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、福沢福祉課長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・理事者に相談したいことがあれば、遠慮なく市長室へ相談に来ること。
- ・夏の行事に関わった職員に労いの言葉を伝えていただきたい。特に人形劇フェスタでは多くの場所で職員にご協力いただいた。関係者の皆さんから感謝の言葉をいただいていることを職員にも伝えていただきたい。
- ・まもなく市議会第3回定例会が開会する。決算審査では、担当する部課の説明や議会からの質問に対応できるよう準備をして臨むこと。
- ・本日監査委員から決算審査の講評をいただいた。数字も含めた資料のミスや差し替えが散見されたと指摘があった。決算審査に限らず日頃の業務でもミスを防ぐため、お互いに声を掛け合うことが大事である。
- ・夏季休暇を全職員が必ず取得できるよう部課長はマネジメントをすること。しっかり休んでリフレッシュし、オンオフの切り替えをすることは大事である。
- ・休暇中に「令和ファシズム論 極端へと逃走するこの国で 井出英策（著）」と「JALの奇跡（稲盛和夫の善き思いがもたらしたもの） 太田 嘉仁（著）」を読んだ。「令和ファシズム論 極端へと逃走するこの国で 井出英策（著）」では現在の政治状況への危機感が書かれている。また、「JALの奇跡（稲盛和夫の善き思いがもたらしたもの） 太田 嘉仁（著）」では、稲盛和夫氏が人生の方程式として、仕事の結果は考え方×熱意×能力だと説いている。能力は比較的目に見えやすいが、目に見えにくい考え方や熱意が大事であるとし、考え方をまとめた「JALフィロソフィー」と呼ばれる手帳を全社員が携帯し、共有しながら再建に取り組んだことが書かれている。
- ・年度初めに各部局でキャッチフレーズを考えることを提案した。職員の間で目標を明確にし、共有することが組織として大事なことである。各部局でフィロソフィーにあたるものを考え、共有して年度後半に向かって取り組んでほしい。

＜教育長＞

- ・人形劇フェスタでは管理職組合の皆さんにふれあいキャブのボランティアスタッフとしてご活躍いただき感謝申し上げる。初めて人形劇フェスタを観劇した方から、外に発信するべき素晴らしい取組であると言われ大変嬉しく感じた。飯田にいと当たり前でも、外から見ると宝物がたくさんあることに改めて気付かされた。アピールや周知の仕方をこれからはもしっかり考えていかないといけない。
- ・8月3日に平和祈念館で特別展を開催した。広い会場を使って、収集した展示物を直に触れる展示をした。若い人や親子連れで賑わい、展示物を作った職員もやりがいを感じていた。来年に生かしていきたい。

2 報告事項

(1) 令和7年飯田市議会第3回定例会の付議案件について

◇趣旨

- ・令和7年飯田市議会第3回定例会の付議案件について報告する。

(2) 令和7年度一般会計補正予算（第3号）について

◇趣旨

- ・令和7年度一般会計補正予算（第3号）について報告する。

(3) 道の駅遠山郷のグランドオープンに向けた取組について

◇趣旨

- ・道の駅遠山郷のグランドオープンに向けた取組について報告する。

(4) 遠山郷学園における小学校の再編について

◇趣旨

- ・遠山郷学園における小学校の再編について報告する。

◇意見

(市長)

- ・8月4日にまちづくり委員会へ回答した際の様子を部局長へ共有してほしい。

(教育次長)

- ・令和8年4月1日の再編というまちづくり委員会の要望に対して1年遅れることにはなるが、概ね地域の要望に沿った基本方針であると評価いただいた。
- ・地域住民と十分に協議をした上で進めることを要望されており、上村地区と南信濃地区のまちづくり委員会の役員会でも説明を行った。また、まちづくり委員会の会長からPTAとも十分協議をしてほしいとの要望があったため、来月両地区のPTAの皆さんと協議をする機会を設けている。
- ・9月頭に検討委員会を開催する予定になっているが、1カ月間地域の皆さんと協議をする機会を改めて設けた上で、1カ月遅れて検討委員会を開催する。
- ・まちづくり委員会と協議をする中で、地域の人口が減っていることに関して強い危機意識からこういった要望が出ている。学校の再編以外にも様々な取組と一緒に実施していきたい。地域、家庭とともに、より良い教育環境を目指していきたい。
- ・要望書が出る前の段階から学校の校長や教頭と話をしている。県教育委員会とも再編に伴う職員の増員について交渉を続けていく。ご協力いただきたい。

(市長)

- ・地域の日常生活にも非常に影響がある。教育委員会だけのことではなく、各部局にも関わりがあり得る。

(市民協働環境部長)

- ・遠山地区では、約10年前から地域のこどものことを考える議論をしてきた。他の地域もこどもの教育環境は厳しい状況になっている。中学校区の地域が全て同じ状況であれば、地域での議論が進むかと思うが、大きな地区と小さな地区が混在する場合には、温度差があるため、議論の進め方が難しい。長期的な視点を地域の中でも持ちながら進めていく必要がある。

(市長)

- ・条例事項は何か。

(教育次長)

- ・位置と学校名である。
- ・学校名は検討委員会の中でご意見を伺った後、教育委員会が制定する。

(5) 飯田都市計画地区計画（川路地区計画）の変更等について

◇趣旨

- ・飯田都市計画地区計画（川路地区計画）の変更等について報告する。

(6) 飯田市議会全員協議会（9/1）報告事項について

◇趣旨

- ・飯飯田市議会全員協議会（9/1）報告事項について報告する。

(7) 第3回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第3回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

(総務部長)

- ・財政が厳しい状況である。課題共有をしながら議論する必要がある。

4 閉 会